

Nagasaki Dejima



Rotary Club

長崎出島ロータリークラブ週報

WEEKLY REPORT

NO. **1155** 2025年(令和7年)
1月10日 金 発行

Rotary 
長崎出島ロータリークラブ



2024-25年度国際ロータリー会長 ステファニー A. アーチック

第1161回 例会

今年度 第19回例会 令和6年12月20日(金)
会員数72名(出席免除1名) 欠席28名 出席率60.5%

■欠席者：吉村、高瀨、加藤、池田、中村(徹)、大原、藤岡、北島、小西、藤澤、光安、堤、柿山、高谷(忠)、伊東、亀川、山形、廣高、牧、村木、伊藤、福島、瀨村、海野、安達、牛島、熊上、松石、(喜々津)

本日のプログラム 1月10日(金)

クラブフォーラム「職業奉仕月間」

次回のプログラム 1月17日(金)

半期決算報告

2024年度 振り返り



三菱重工総合体育館



■開会・点鐘：塚本直前会長

■ロータリーソング「それこそロータリー」

■四つのテスト：手塚さん（職業奉仕委員）



■会長挨拶：塚本直前会長



皆様、こんにちは。

本日の例会は池田会長が白内障の手術をされるということで先週に続き御欠席の為、先週は有馬副会長、今週は直前会長の私が会長の代理を務めさせていただきますのでどうぞよろしくお願いたします。

今年の7月、池田会長に会長職を受けていただきボタンタッチをして以来、池田会長は帯状疱疹になったりと体調を崩されたりして、私のような適当な人間とは全く違って、何事にもまじめにそして真剣に取り組まれる方ですので、ただでさえお忙しいところにロータリー活動も加わり体調を崩されたのかと、会長職をお願いした私も少し責任を感じております。早くお元気になることを願っております。

さて、本日の例会は今年最後の例会となります。2024年も残りあと10日ばかりとなりました。今年一年を振り返りますと多くの出来事がありました。皆

様にとってはどんな年だったでしょうか。

今年は元旦早々に起こった能登半島地震から始まり、自衛隊機と日航の旅客機が衝突し炎上するなど暗い話からスタートしましたが大リーグでの大谷選手の人間とは思えないほど人並外れた記録を作る活躍や、長崎においては10月にはジャパネットの長崎スタジアムシティーが開業するなど明るい話題が豊富でした。

私は6月までの半年間はロータリー活動に精を出し、7月以降は仕事などで出張も増え、特に今年は還暦の年ということもあり、よく飲み、よく食べた1年だったと思います。年々1年が経つのもとても速く感じられる今日この頃です。

結びに皆様が健康で幸せな年末年始を迎えられることを心より願ひまして本日の例会の会長代理としての挨拶とさせていただきます。

それでは本日も楽しい例会にいたしましょう！

■幹事報告：埴生幹事



① 事務局年末年始休業について：

12/27～1/5 迄お休みとなります。

② 出欠返信について

炉辺会合出欠返信は本日まで、IM 出欠返信は 12/25 まで、新年会出欠返信は来年 1 月 10 日までとなっております。

■ マリア園さんからのクリスマスの
パウンドケーキ当選者



平井さん



阿字野さん



今村さん

■ ゴルフ同好会からのお知らせ：栗山さん



■ ニコニコ披露：親睦活動委員会 牧野さん
ニコニコ9件 36,000円（累計702,000円）



■ 塚本さん：

今日は今年最後となる例会で、池田会長ご欠席の為、代理を務めさせていただきます。皆様、今年1年間大変お世話になりました。良いお年をお迎えください。

■ 佐々木さん：

またまた亀川美羽ちゃんゴルフサバイバル通過しましたのでニコニコです。

■ 竹内さん：

今年も大変お世話になりました。来年もよろしく願います。

■ 埴生さん：

①2024年の締めをかざる卓話になりますが、牧野さん
よろしく願います。

②明日インターアクトと張万麗さんたち留学生との交流会が開かれるので、光富委員長と行ってきます。

③長崎出島ロータリークラブの会員であった松尾宏司さんのリハビリの様子がYouTubeにアップされていますので、御紹介します。詳しくは事務局徳永さんまで。

■ 鉄川さん：

年も押し迫りましたが、今年のトピックは長男が結婚したことでした。すでに共同で生活していたのですが、9月に「籍入れたよ～」と連絡がありました。結婚にかんするイベントは当面なにもなし、お相手も旧姓で仕事続行のようで、今風だなあと思いました。まあ、結婚相手とご両親に会わせてはくれましたが。ちなみにお相手も同業で、家族全員が一級建築士という状態は継続中です。

■ 庄司さん：

12月13日が長女スミネ、18日が私の誕生日ということでニコニコします。

■ 山田(佑)さん：

激動の1年でしたが、ゆっくりと年末年始が過ぎそう
うで感謝しています。よいお年をお迎えください。

■堤さん：

今年の1年終わりますねえ。皆さん、何かとお疲れ様でした。

.....

■牧野さん：

先々週に人生初の痛風を発症、そして先週人生2回目のインフルエンザにもかかり、人生で一番つらい2週間を過ごしました。

■新会員卓話：牧野さん「自己紹介」



僭越ではございますが、新会員卓話をさせていただきます。名前は牧野賢一郎と申します。昭和50年生まれの49歳です。家族構成は妻40歳と5歳の長女と4歳の次女がおります。ちなみにバツ経験も1回ほどございます。私の母は健在、父は昨年亡くなっております。兄弟は姉がいますが、知的障害者です。母と2人で仙台で暮らしています。知的障害の姉と一緒に暮らしたからこそ障害者の気持ちはわかるつもりです。

私の生まれは宮城県仙台市です。生まれて半年で名古屋市中村区に引っ越しとなりました。幼稚園卒業まで名古屋で過ごしました。そのあと更に転勤で小学校から大学まで東京都の国立市というところで18年間過ごしました。国立市は山口百恵、三浦友和夫妻が住んでいることで有名となりました。私も小学生ながら自転車に乗って家を見に行きましたが窓がないんですよ。マスコミからの撮影を回避するためだと思うのですが、窓のない家を見たのは衝撃的でした。ただ天井一面が窓になっていると後で聞きました。

小学校低学年までは母が英才教育をさせたかっと思うのですが、エレクトーン、絵画、英会話教室、そろばん、水泳など習い事が多かったことを覚えていま

す。また母の野望は中学受験に発展し、小学校4年生から当時東京では人気であった四谷大塚に入れさせようと試みます。四谷大塚は応募者数が定員を大幅に超えるため当時は四谷大塚の塾に入るための入塾試験がありました。嫌々試験会場に行ったのも覚えています。結果は見事不合格でした。お金を払うのに塾にさえ入れない私を母はそこで見切ってくれた気がします。頭は期待できないと。そこからは野球をやりたいと懇願し、野球チームに入りました。結果野球だけが長続きし、高校まで打ち込みました。

少年野球チームではピッチャー兼センター、打順は4番。中学の野球部ではピッチャーで4番を打たせてもらいました。中学の時にノーヒットノーランを1回達成できたことは少しだけ自慢です。当時はうぬ惚れており、甲子園常連校に行きたいという気持ちが強くなってしまいました。高校進学にあたって帝京高校や神奈川の桐蔭学園の野球部の練習風景を見学に行ったのを覚えています。とくに帝京高校の練習を見た時、あまりのレベルの違いに気づき、目が覚めました。結局高校は山梨県の日大明誠高校に入学しました。山梨県に行った理由は、山梨は高校が40校しかないため、甲子園に出れる確率が東京なんかよりも高かったからです。もちろん野球部に入部しましたが、当時は部員数も多く、70名以上いました。ピッチャーだけで10人いましたので競争が激しかったです。1学年下に日本ハムで活躍した伊藤たけしが入部してきたのでレギュラーどころか背番号ももらえることなく控えの高校球児で終わりました。当時の背番号は15までしかなく、15人しかベンチに入れない時代でした。最後の夏は準決勝で東海大甲府に負けて結局3年間甲子園に行けませんでした。あとちなみに日大明誠高校野球部の有名なプロ野球選手は巨人軍で活躍していた木田優夫がおります。芸能人だとTMネットワークの宇都宮隆と木根尚登がおります。

野球の知識は相当オタクです。昔プロ野球カードが流行ってまして、表には選手の顔と生年月日や出身地などのプロフィールが載っていて、裏はサイコロを振って出た目で2塁打とかサードゴロとかが書いてあります。そのカードを全球団集めました。それによって選手の生年月日や出身まで頭に残っています。あの選手は群馬出身で昭和40年生まれなどある程度は答えられます。あと高校野球オタクでもあります。独身の時はその試合が

見たいとなればわざわざ遠征しに行き観戦していました。高校野球オタクの方おられましたらお声かけください。そして大学はそのまま日本大学に行きました。最近お騒がせしている大学です。

大学時代は野球を辞め、競技スキー部に入学しました。スキー部に入った理由ですが、中学校の時に「私をスキーに連れてって」という映画を見たことによりスキーがうまくなれば社会人になってもモテるかもしれないという下心で入学しました。しかし入学した頃から時代はスノボーに変わってしまいました。長崎ではスキーの文化がないためよくわからない方が多いとは思いますが、スキー部はどのような活動をしているのかといいますと、春から秋にかけては週3回陸上トレーニングで体を鍛え、練習のない日はバイトをして冬のシーズンイン前までに約40万ほどお金を貯めます。12月のシーズンインから3月まで山にこもって練習と大会を繰り返すのがスキー部です。競技スキーはアルペンスキーともいわれており、ポールとポールの間をいかに短い時間で降りてこられるかを競う競技です。ポールとポールの距離が一番短い競技をスラローム、もう少し長くなったのがジャイアントスラローム、さらに長くなったのをスーパージャイアントスラローム、もっともっと長くなったのをダウンヒルと呼びます。要するにポールとポールの距離が長ければ長いほどスピードが出ます。一番スピードの出るダウンヒルでは最高時速はプロだと200キロほどになります。実は命がけのスポーツなんですね。そしてこの競技時間はたった約1分から2分です。この1~2分のために前日から大会当日の天候を予測したワックスを選択し、スキー板に塗り込みます。ワックスも色々な種類があります。気温で3種類、さらにサラサラ用、じめじめした雪用で掛け合わせると計6種類の中から選択します。板の手入れをチューンナップというのですが、固形のワックスをアイロンで溶かし、均一に塗ります。1時間ほど待ちます。そのあとスクレイパーでワックスを全部そぎ落とします。そのあとブラシで何度も何度もこすることで滑りやすくなります。前日の手入れに1時間半ほどかけるということになります。大会当日はコースインスペクションといってコースの下見を1回できます。コースを本番と同じように滑れるわけではなく、コースを荒らさないように横滑りで降りて下見する感じです。あ

とは滑る直前まで頭の中でイメージトレーニングをして試合に臨んでいきます。タイムの秒数単位は0.01秒刻みです。1秒で5メートルほど違うので、0.01秒まで測ります。皆さん知らないと思うのですが、競技のコースには硫酸という塩が撒かれています。なぜ塩を蒔くかというと、コースをガチガチのアイスバーン状態にする訳です。何百人の選手が滑りますので、塩を蒔かないと、すぐ凸凹に掘れて危険になってしまうためです。それでも相当掘れますけど。この競技を通じて極度の緊張感の中でいかに集中するかを学べたと思います。アルペンスキーもやりましたが、クロスカントリーも同じように取り組みました。萩原健司、次晴の兄弟で有名になりましたが、森林の中に作られたアップダウンのあるコースを軽くて細い板に乗り、ストックで漕ぐというスポーツです。競技なので5キロとか10キロを競うというものです。この競技はテクニクとあとは根性です。少し根性もついたかなと思います。

部活の話ばかりでしたが、大学の選考は林学科です。はやしの林です。要するに森林の勉強です。なぜ林学科を選択したかと申しますと、野球をやっていたからは言い訳になりませんが、あまり勉強をしていなかったからです。そこにしか行けなかったからです。日大の付属高校は沢山ありますが、全員が日大に行けるのではなく、日大を希望する人は全ての付属校が同じ日時に統一試験を受け、上位50%が日大に進学できるシステムとなっていました。偏差値上位者から行きたい学部を選んでいくイメージです。

なんとか大学を卒業し、平成10年に第一生命に入社いたしました。第一生命は総合職コール、営業管理職コース、一般事務コースがあります。私は営業管理職コースで入社したので、入社から営業一筋でやっています。入社して2年間は自分で営業をする下積み、3年目からはオフィスに配属され、そのオフィス長から経営を学ぶ下積みを経て、早い人だと6年目からオフィス長としてオフィスを経営していく会社です。私は1年目は池袋で個人宅の募集活動、2年目は横浜関内駅周辺の法人開拓の実践活動でした。まだ当時は労働基準もあやふやで、朝は8時に出勤、夜は22時に退社と、14時間勤務でした。土日も営業活動、休みは正月とお盆くらいでした。会社も生半可な学生気分から脱皮させるためにあえて厳しい環境にしていたと思いますが、

この2年間は高校の野球部くらいきつかったです。そして3年目から5年目は名古屋支社のオフィスに赴任し、新人育成のトレーナー業務を3年させてもらいました。6年目は富山支社でオフィス長代理で1年勉強。そして7年目にやっと機関長であるオフィス長となり、一場所目は富山県の黒部オフィス4年、富山北オフィスを3年、愛知県の小牧オフィスを3年、そして茨城県つくばオフィスに赴任するときにBL担当営業部長を拝命され3年、佐賀県唐津オフィス3年、鳥取県米子中央オフィス4年、そして長崎に赴任して参りました。7場所目となります。一場所目の黒部オフィスの時に新人と飛び込みしていた時の話をさせてもらいます。そのお客様は猫好きであり、野良猫に餌を与えていたら倉庫で子猫が生まれてしまったとのことで、1匹引き取ってくれるなら息子の保険に入ってあげると言われました。迷いましたが、猫と引き換えに保険を頂くことになりました。その猫はいまだ健在です。なんと平成17年生まれですから19歳です。

私の仕事は簡単に言うとホスト的な仕事かなと思います。営業職員の方が私より強いですからね。セールスレディをよいしょし、気分を高めて頑張ってもらおう職業だと思います。よく女性がたくさん職場にいていいねとか、ハーレム状態だよねと言われますが、全くそんなことないんです。男性1名女性50名だとアウェイ状態なんです。毎日女性と話していると男性が恋しくなるもんなんです。最近うちのオフィスにも営業管理職コースの若手の男子が配属になったので、男性が一人いるだけで心地よいし、アウェイな感じから解放されました。この仕事は営業の会社なのでいろんな出会いが多いと思うのですが、前任地の米子セールス

レディに元西武ライオンズの石毛宏典（西武ライオンズ黄金時代のキャプテン）の実の娘が入社してきました。娘もめちゃくちゃ美人なのですが、娘経由で米子でイベントを開催させてもらえないか頼んだところ、快く引き受けて頂きました。「石毛宏典わが野球人生」というテーマで講演、次の日に法人ゴルフコンペ特別枠に来て頂き、二日間石毛さんアテンドをさせてもらいました。気さくな方で夜もお付き合いしていただき、またそのつながりで元広島カープの川口和久さんともお会いすることができ、出会って素敵だなとつくづく思いました。仕事を通じて社内の先輩から教えてもらうこともありますが、一番勉強になるのは経営者の方々との出会いを通じて沢山のことを教えてもらったことの方が私にとっては大きいです。まだまだ未熟者ではございますが、長崎でも皆様とのステキな出会いを大切に、微力ながらお役に立てるよう努力してまいります。

ご清聴ありがとうございました。

■閉会・点鐘：塚本直前会長



RI加盟承認
1998年9月30日

- 国際ロータリー第2740地区ガバナー 石坂 和彦
- 国際ロータリー第2740地区第10グループガバナー補佐 中島 健太郎
- 長崎出島ロータリークラブ 会長：池田 久美子 幹事：埴生 健一
- 例会日：金曜日（12：30）
- 例会場：ホテルニュー長崎 Tel.095-826-8000
- 事務局：〒850-0862 長崎市出島町12-29 夢進ビル2階
Tel.095-822-9632 Fax.095-826-4756
- 創立：1998.9.4 ■ RI加盟認証：1998.9.30

会報委員会：寺岡 誠三、今村 茂雄、濱村 俊介、栗山 壮一、山下 隆義、藤澤 千絵
✉ dejimaro@lime.ocn.ne.jp 🌐 <http://dejimaro.jp/>

dejimaro.jp



■スポレクの御礼状が長崎市内 3 施設より届きました



マンホール探訪 No.20

宮崎県のマンホール

続いてお隣の宮崎県に入っていきます。

- ①は、中央に宮崎市の「市章」が配置され、中央から外側に向かって市の花である「ハナショウブ」が描かれています。
- ②は、同じように「市章」が中央にあります。市章を中心に4分割され、市の花「ハナショウブ」と市の花木「ツバキ」が対角に配置されたデザインです。観光客向けでしょうか、周囲に「WELCOME TO MIYAZAKI」と表記されています。
- ③は、②の小型蓋バージョンで、凹凸が反転したデザインとなっています。
- ④は、宮崎市から離れ、高鍋町で見つけたポケモン蓋です。「アローラナッシー」と「アローラライチュウ」が海で楽しんでる様子です。

